株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日　定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告の方法により行います。 但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載アドレス　http://www.kawai.co.jp/ir
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないために特別口座が開設されました株主様は、
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払い配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 河合楽器製作所
〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地
Tel：053-457-1213　Fax：053-457-1300
URL：http://www.kawai.co.jp

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

第87期 中間報告書

2013年4月1日～9月30日

株式会社 河合楽器製作所

証券コード7952

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素、格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。
第87期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申しあげます。

当上半期のわが国経済は、現政権の経済政策及び金融緩和への期待感から株価が上昇するとともに円安基調で推移し、徐々に景気回復の兆しが見られました。一方世界経済は、米国経済に緩やかな回復が見られたものの、欧州金融不安の継続、中国をはじめとしたアジア経済の減速懸念もあり総じて停滞感のある状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは「第４次中期経営計画」の初年度として、楽器事業における販売拡大とブランド力向上に向けた施策をはじめ、各事業セグメントの重点施策に取り組みました。

中間配当につきましては、期末１回の配当を基本方針とさせていただいているため、引き続き見送ることとさせていただきました。

今後も国内外とも厳しい経営環境が予想されますが、「第４次中期経営計画」初年度の目標達成に向けて積極的に取り組み、株主の皆様への還元を図るとともに、企業価値の向上に努めてまいる所存であります。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2013年12月
取締役社長 河合弘隆

事業の概況

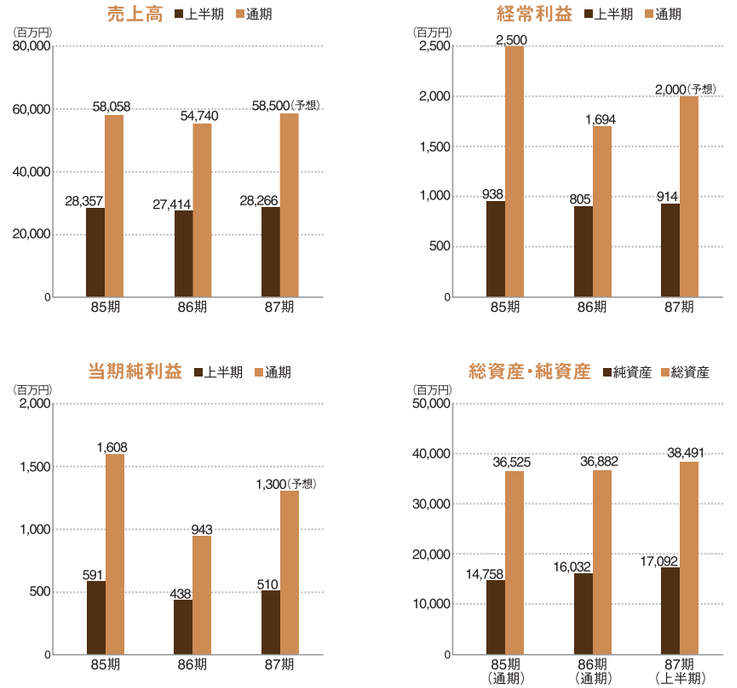
当上半期は、最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』を中心とした高付加価値ピアノの全世界に向けての販売拡大とブランド力向上に取り組みました。また、国内では新規顧客の開拓と地域密着型の音楽教室の開設を進め、海外では新興国市場において音楽教室の展開をはじめとした積極的な市場開拓・販売拡大に取り組みました。

この結果、売上高は28,266百万円（前年同期比852百万円 3.1%増）となり、このうち国内売上高は19,650百万円（前年同期比184百万円 0.9%増）、海外売上高は8,615百万円（前年同期比 667百万円 8.4%増）となりました。

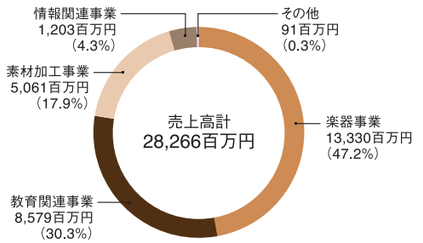
損益面では、営業利益は690百万円（前年同期比232百万円減益）となり、経常利益は914百万円（前年同期比109百万円増益）となりました。また、四半期純利益は510百万円（前年同期比72百万円増益）となりました。

総資産は 38,491百万円（前期末比1,609百万円増）、有利子負債は 4,077百万円（前期末比900百万円増）となりました。

業績ハイライト



事業セグメント別の売上構成



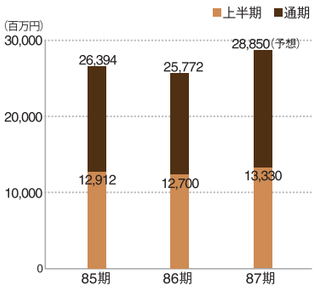
各事業セグメントの概況

楽器事業

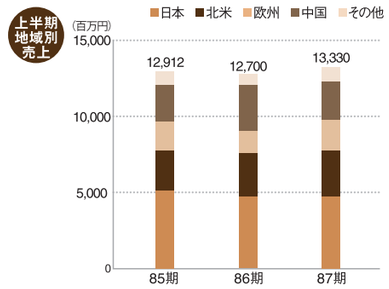
国内のピアノ販売台数については、新モデルのグランドピアノ『GXシリーズ』を中心に堅調に推移しましたが、海外においては主に中国市場の減速の影響を受け減少しました。電子ピアノについては、新商品投入効果もあり国内及び欧州において伸長しました。この結果、売上高は為替影響もあり13,330百万円（前年同期比5.0%増）となりましたが、海外のピアノ販売台数の減少や、原価高により150百万円の営業損失（前年同期比174百万円減益）となりました。

Shigeru Kawai限定モデル

売上高推移



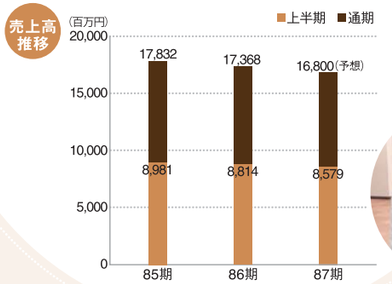
上半期地域別売上



教育関連事業

新規生徒募集に積極的に取り組んでおりますが、既存教室の生徒数減少をカバーするには至らず、売上高は8,579百万円（前年同期比2.7%減）となり、営業利益は657百万円（前年同期比131百万円減益）となりました。

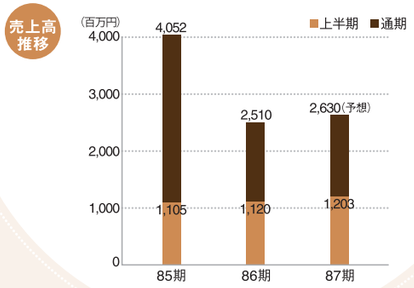
売上高推移

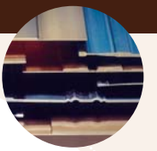


情報関連事業

IT機器の販売増加により、売上高は1,203百万円（前年同期比7.4%増）となり、営業損失は37百万円（前年同期比 7百万円悪化）となりました。

売上高推移

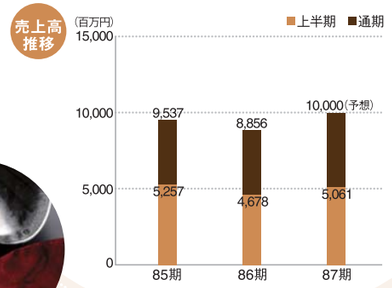




素材加工事業

金属事業の自動車関連部品の受注増加、前期に設立した子会社の銑鉄鋳物販売の上乗せにより売上高は5,061百万円（前年同期比8.2%増）となりましたが、営業利益は塗装事業における受注減少により294百万円（前年同期比 3百万円減益）となりました。

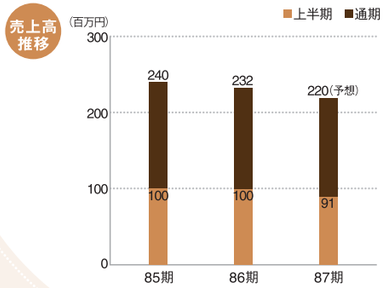
売上高推移



その他

その他の事業については、売上高は91百万円（前年同期比9.0%減）となり、営業損失は11百万円（前年同期比 7百万円改善）となりました。

売上高推移



第4次中期経営計画の進捗

現在、第4次中期経営計画の確実な遂行に向けて、さまざまな戦略を展開しております。

■音楽教室海外戦略

～インドネシアに海外初の直営カワイ音楽教室をオープン～

アジア地域の音楽教育事業展開の拠点として、PT.カワイミュージックスクールインドネシアを設立し、ジャカルタ郊外の人口増加の著しいタンゲラン地区に、当社では海外初となる直営の音楽教室を開校しました。オープニングセレモニーでは、多くの方々にご来場いただき、体験レッスンやShigeru Kawaiのプレゼンテーション、ミニコンサートが行われ、大盛況に終わりました。

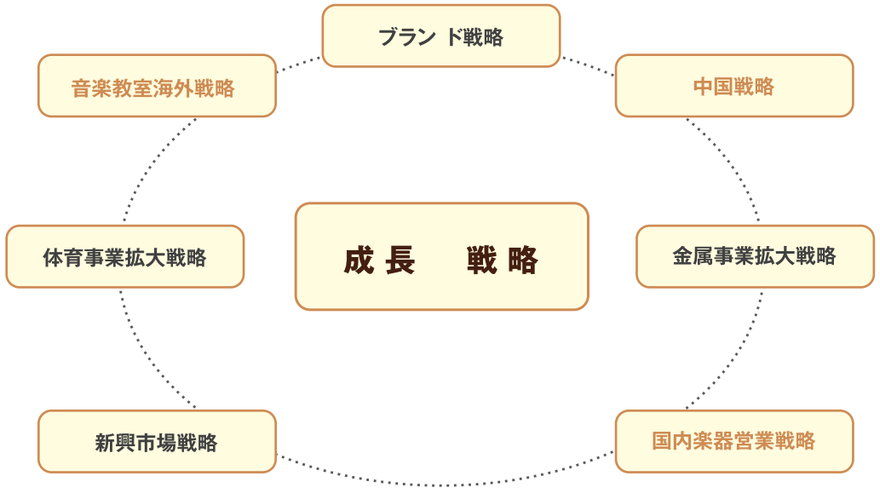
当教室で確立したビジネスモデルをもとに、今後さらにインドネシアをはじめ本格的にアジア各国市場へ展開してまいります。

音楽教室のあるビル

オープニングセレモニー受付

ミニコンサート

体験レッスン風景



■中国戦略 ～GXシリーズ新製品発表会（上海）～

中国（上海）国際楽器展覧会の開催期間中に、グランドピアノの新モデルであるGXシリーズの発表会を行いました。

現地代理店関係者など約300社が出席し、今後の当社ピアノや電子ピアノのシェア拡大につながる重要なイベントとなりました。今後も重要市場として販売拡大に力を注いでまいります。

発表会の様子

ミニコンサート

■国内楽器営業戦略 ～音楽教室を続々オープン～

日本国内におきましては、人口増加エリアを中心に音楽教室を新たにオープンしております。今後も市場ニーズに即した魅力ある音楽教室を積極的に展開してまいります。

ミュージックスクール掛川（静岡県掛川市）

ミュージックスクール千葉（千葉県千葉市）

新製品

◆スタイリッシュデジタルピアノ『LS1』

ピアノとしての高い性能とインテリアにマッチするデザインを兼ね備えたスタイリッシュデジタルピアノ『LS1』を発売いたしました。

閉めたときにフラットとなる鍵盤蓋、奥行きコンパクトなボディを特徴として、モダンなインテリアに溶け込むデザインを実現し、さらに、このジャンルでトップクラスのピアノ性能を備えました。初級者から上級者まで、幅広く対応することが可能なモデルです。

◆音調パネル

当社独自の技術を注ぎ込み、理想の音環境を手に入れることができる『音調パネル』を発売いたしました。

防音室ナサールユニットタイプで採用している「吸音パネル」を、壁や窓に立て掛けて使用できるスタイリッシュなデザインに一新しました。軽量・スリムでありながらも、高い吸音性能を備えております。

◆iPhoneアプリ『KAWAIメトロノーム』『KAWAIチューナー』

楽器メーカーならではのノウハウを注ぎ込み、操作性の向上を追求し、確かなリズムと確かな音で楽しい音楽ライフを提供するiPhoneアプリ『KAWAIメトロノーム』『KAWAIチューナー』のダウンロード販売を開始いたしました。

操作性やデザインにこだわり、画面設定のカスタマイズを可能にするなど、ブラスバンドや合唱、ギターやベースプレイヤーなど音楽に携わるすべての方に幅広く活用いただけるアプリです。

KAWAIチューナー

◆Shigeru Kawai限定モデル

フラッグシップモデルShigeru Kawaiの鍵盤に、象牙および黒檀を使用した『SK-5グレートアイボリー』『SK-3グレートアイボリー』の2機種を発売しました。

象牙および黒檀の持つそれぞれの特徴を活かし、さらに完成度を高めたプレミアムグランドピアノです。

トピックス

◆“浜松駅前看板”25年ぶりに一新

JR浜松駅北口にある駅前看板は、東日本大震災以降、電力不足に対応するため消灯を実施してまいりましたが、この度、25年ぶりにデザインを一新し、再度夜間点灯を開始しました。「KAWAI PIANO」の赤い立体文字に白い間接光を利用して、夜間でも視認性の高いデザインとし、光源寿命が長く省エネルギーで、有害物質含量やCO_2排出量などの環境負荷も小さいLEDを採用し、従来より約87%の電気使用量削減を実現しました。

◆JR浜松駅新幹線コンコースに Shigeru Kawaiを展示

現在、JR浜松駅の新幹線コンコースにShigeru Kawaiグランドピアノの展示を行っております。
展示されたピアノは、自由に試弾ができ、DVDによるShigeru Kawaiブランドの紹介も上映されております。

◆中国（上海）国際楽器展覧会 （Music China 2013）

10月10日から4日間、上海にて楽器展覧会が開催されました。
今年もピアノメーカーをはじめ、1600を超える企業が参加しました。
当社ブースは、Shigeru Kawaiを中心に、新モデルのGXシリーズなどを展示し、多くの来場者で賑わいました。

決算情報

■連結貸借対照表（要旨）

（単位:百万円）

科　目	当上半期 '13.9.30現在	前期 '13.3.31現在
（資産の部）		
流動資産	20,833	19,511
固定資産	17,657	17,370
有形固定資産	14,153	14,047
無形固定資産	655	570
投資その他の資産	2,848	2,752
資産合計	38,491	36,882
（負債の部）		
流動負債	9,922	10,585
固定負債	11,476	10,264
負債合計	21,398	20,849
（純資産の部）		
株主資本	17,045	16,874
資本金	6,609	6,609
資本剰余金	744	744
利益剰余金	9,850	9,679
自己株式	△159	△159
その他の包括利益累計額	3	△888
少数株主持分	42	46
純資産合計	17,092	16,032
負債及び純資産合計	38,491	36,882

■連結損益計算書（要旨）

（単位:百万円）

科　目	当上半期 '13.4.1～'13.9.30	前上半期 '12.4.1～'12.9.30
売上高	28,266	27,414
売上原価	21,369	20,401
売上総利益	6,896	7,012
販売費及び一般管理費	6,206	6,090
営業利益	690	922
営業外収益	348	97
営業外費用	124	214
経常利益	914	805
特別利益	1	0
特別損失	10	3
税金等調整前四半期純利益	905	802
法人税等	405	364
少数株主損益調整前四半期純利益	499	438
少数株主損失（△）	△10	—
四半期純利益	510	438

会社概況（2013年9月30日現在）

●会社の概要

商号	株式会社河合楽器製作所 [英文表記] KAWAI MUSICAL INSTRUMENTS MANUFACTURING CO.,LTD.
創立	1927（昭和 2）年8月 9日
設立	1951（昭和26）年5月15日
資本金	6,609百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
主な事業	楽器の製造、仕入並びに販売 音楽教室・体育教室の運営 金属加工品及び木工加工品の製造、仕入並びに販売
従業員数	連結2,836名／単体 1,446名

●事業所

本社	〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地
工場	[国 内]竜洋工場（静岡県磐田市）など [海 外]インドネシア、中国
営業拠点	[国 内]関東支社（東京都渋谷区） 中部支社（名古屋市中区） 関西支社（大阪市中央区） [海 外]アメリカ、ドイツ、中国など

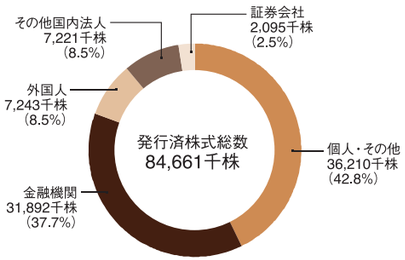
●役　員

代表取締役社長	河合弘隆	執行役員	富山千広
取締役（副社長執行役員）	佐野良夫	執行役員	伊藤照幸
取締役（専務執行役員）	村上二郎	執行役員	江部　博
取締役（常務執行役員）	金子和裕	執行役員	玉村邦明
取締役（相談役）	小倉克夫	執行役員	大神正清
取締役（上席執行役員）	稲垣　誠	執行役員	合田光範
取締役（上席執行役員）	日下昌和	執行役員	牛尾　浩
取締役（上席執行役員）	西尾正由紀	執行役員	河合健太郎
社外取締役	片桐一成	執行役員	森　直樹
常勤監査役	河崎哲男	執行役員	箕輪匡文
常勤監査役	鈴木秀一		
社外監査役	都築知也		
社外監査役	田畑隆久		

●株式の状況

発行可能株式総数	342,000千株
発行済株式の総数	84,661千株 （自己株式949,254株を除く）
株主数	8,352名

主要株主

株　主　名	株式数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,164
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,262
株式会社河合社団	4,778
東京海上日動火災保険株式会社	2,750
明治安田生命保険相互会社	2,700
カワイ従業員持株会	2,674
河合楽器取引先持株会	2,455
共栄火災海上保険株式会社	2,250
株式会社静岡銀行	2,040
日本生命保険相互会社	1,592

株主構成